

# 議 会 だ よ り

まるもり

Miyagi Prefecture  
Marumori Town Assembly  
News

第 251 号



2020. MAY  
令和 2 年 5 月 1 日

発行 宮城県丸森町議会  
編集 議会広報常任委員会



希望の一粒

## 3 月 議 会

中学生が町政を問う .....	2 ページ
明日につながるまちづくりを .....	10 ページ
<b>一般質問</b> 8 名の議員が町政を問う .....	15 ページ



まあるい森の里からごんにちわ

# 中学生が町政を問う

令和元年度 未来の丸森を語る丸森中学校模擬議会  
2年生87名と議員・町長・教育長が議会に臨む



町の将来を担う中学生が、議会運営について体験するとともに、まちづくりへの関心を深めることを趣旨とした模擬議会を令和2年2月6日に開催しました。

第一部 齋藤 叶翔 議長



第二部 牛澤 拓真 議長



第一部 佐藤 遥菜 議員  
相談役・乗原なのは 議員  
安達 蘭望 議員

観光交流人口の拡大は



問 観光客の宿泊施設が少ない。増やしてはどうか。

自然が綺麗な丸森町でもゴミが落ちてきている。綺麗になれば訪れる人も気持ち良いのではないかと。観光に力を入れる計画はあるか。

答 あぶくま荘や温泉など宿泊施設はあるが多くなっているので増やしていきたい。

美しい自然環境を行政と町民が一緒に守れるよう努める。外国人観光客誘致事業にも力を入れ観光交流人口拡大を図る。



第一部 和田 陽翔 議員  
相談役・森 悠乃介 議員

### 超高齢社会と空き家対策は

**問** お年寄りに優しいまちづくりとして、巡回サービスをすることはどうか。高齢化社会への対応を問う。

何年も放置された空き家は火事など安全面で心配だ。有効活用するなどの対策は考えているのか。

**答** 巡回サービスは行政区長や民生委員の定期的訪問などで緊急時に対応する仕組みを作っている。

空き家対策の一環として店舗と住宅の再利用を進めている。今後とも利用を進め空き家解消を図る。



第一部 本田 優衣 議員  
相談役・星 こはる 議員

### 若者の定住対策は

**問** 丸森町内は働く場所が少ないと感じる。

仕事を求めて町外に出て行ってしまえばいい。若者の働く場の確保は。

**答** 工場を建てたい会社に応えるように工場団地を作り会社進出に備える。工場誘致に加え若者に住んでもらえるようにアパートを建設して、保育料や医療費の無料化など子育てしやすい環境づくりも進めてきた。

住んでみたいと思える町づくりに向け取り組む。



第二部 飛田 耀人 議員  
相談役・八巻 琉睦 議員

### 学校教育の充実を

**問** 部活動をより充実させるために野球部で防球ネット、バスケットボール部は屋外用の簡易ゴールの設置を要望しているがまだ設置されていない。設置予定はあるのか。

**答** 学校施設を整備する予算はどう割り振るのか。

**答** 要望は、まず現地調査をして、期待にどのよう添えるか話し合っていく。

予算は教育委員会が重要度や必要性を検討した上で企画財政課に予算要求し町長が議会に諮り、議会で認められると予算が成立する。



第二部 小野 玲弥 議員  
相談役・高橋 英隆 議員

### 台風第19号の被害対策は

**問** 町中心部が浸水したために、機能不全に陥り、復旧の足取りが遅くなったのではないかと。浸水対策と復興計画について問う。

また、防災で私たち中学生にできる事は何か。

**答** 想定外の雨量で内水が中心部に集まり、ポンプも水没し大きな被害が出た。国・県と連携し排水能力の高いポンプを設置するなど内水対策に万全を期す。住宅の再建など5年間の計画で復興を目指す。

皆さんも地域の一員として防災の担い手になってほしい。



第二部 八巻 美々 議員  
相談役・八巻 結花 議員

### 町の少子化対策は

**問** 少子化による小学校の合併も心配だ。幼稚園児や学生たちが町に集まる遊べる場所を作ってはどうか。

交流を深めるイベントの開催で若者も増え、少子化も防げるのではないかと。

**答** 不動尊公園キャンプ場など豊かな自然を活かした遊び場の充実に取り組み。現在開催している、山の子キャンプや齋理幻夜などのイベントで毎年工夫を凝らして丸森大好き人を育てるとともに、住み続ける若者を増やしたい。

# 本格復興への第一歩

## 3月議会のあゆみ

3月議会定例会は、3月3日から17日まで15日間の日程で開催しました。議会では、令和2年度各種会計当初予算をはじめ、丸森町ふるさと応援基金条例制定、丸森病院事業の設置等に関する条例の一部改正、丸森町敬老祝金条例の一部改正等の議案が提出されました。

別会計と、2つの企業会計合わせて10件の審査を行いました。

そのほかの議案についても審議の結果、町長提案のとおり、すべて可決しました。

一般質問には8人の議員が登壇し、災害からの復旧・復興、小学校の再編統合、丸森病院の今後等について、議員自らの考えを交え、町長の考えをただすなど、活発な議論が行われました。議会最終日には、新年度各種会計予算に関する要望を議員発議で提案しました。

## 条例制定

### 丸森町ふるさと応援基金条例

企業版ふるさと納税※によって町に寄せられた寄附金を積み立てるため、丸森町ふるさと応援基金の設置を承認しました。

この寄附金を復旧・復興事業に活用し、魅力的なまちづくりを推進するために制定された条例です。

※企業版ふるさと納税とは  
国が認定した地方公共団体の地方創生に係る事業に対して企業が寄附を行った場合に、法人税等から税額が控除されるという、企業にもメリットがある制度です。

### 丸森町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

#### 指定管理

#### 指定管理者は継続

現在の一般病床55床・療養病床35床を、一般病床17床・地域包括ケア病床（在宅復帰に向けてリハビリ等を行う病床）38床・療養病床35床に変更しました。

- 黒佐野堆肥センター  
黒佐野地区有機利用組合  
指定期間…令和2年4月1日から5年間

地域医療のニーズに応え、とともに、病院経営の安定化を図ることを目的に改正したものです。

#### 指定管理

### 丸森町敬老祝金条例の一部を改正する条例

将来の現役世代の負担を減らすため、88歳の祝金を年額2万円から1万円に、99歳の祝金を年額30万円から10万円に改める改正を行いました。

- 不動尊クラインガルテン  
丸森町不動尊市民農園管理組合  
指定期間…令和2年4月1日から5年間
- 筆甫クラインガルテン  
筆甫体験農園管理組合  
指定期間…令和2年4月1日から5年間
- 丸森町筆甫そば打ち体験館  
筆甫地区振興連絡協議会  
指定期間…令和2年4月1日から5年間

## 令和2年度の 各種会計予算は

### 一般会計予算

一般会計予算の総額は、239億4300万円で、昨年度と比較して149億4900万円、166.2%の増となり、台風災害の影響で前年度を大幅に上回りました。

### 特別会計予算

国民健康保険特別会計など7つの特別会計予算の総額

41億6500万円

### 企業会計予算

病院事業会計

15億 204万円

水道事業会計

6億9572万円

※予算額は収益的支出及び資本的支出の合計額

## 有害鳥獣処理施設に

4353万円

おがくずを利用して、駆除した有害鳥獣を水と二酸化炭素に分解する施設を新設する予算です。

駆除隊員の負担になっていた有害鳥獣の処分を容易にすることにより、捕獲効率が高まることが期待されています。令和2年度内に運用が開始される予定です。

## 被災者見守り・相談 支援に

1602万円

応急仮設住宅等に入居した被災者の孤立防止等のための見守り・相談支援を行うための予算です。

この事業は社会福祉協議会に委託され、5人の生活支援相談員が被災者の生活を支援します。

## 総合交通対策に

6296万円

デマンド型乗合タクシー（あし丸くん）、町民バスなどにより、住民の交通手段を確保するための予算です。

災害により一部不通となっている路線についても、業者と確認・連携をしながら今後安全な運行をしていく予定です。

## 地域おこし協力隊に

1億4058万円

これまでの地域活性化を図る各種事業への地域おこし協力隊と併せ、台風災害からの早期復旧に向けた「復興支援型」の協力隊を導入します。

また、任期終了後の隊員の定住定着に向けたサポート体制の継続や、起業を支援していきます。



有害鳥獣の猪などをおがくずと混ぜて分解する装置



病院からの帰りにも重宝している「あし丸くん」

# 令和2年度災害復旧に433億円

## 令和2年度

### 台風第19号関連予算

令和2年度当初予算162億7601万円及び令和元年度一般会計予算の繰越明許費264億8089万円を合わせて、総額427億5690万円の歳出予算を可決しました。

このほか、特別会計では、公共下水道事業で4億6526万円、農業集落排水事業で8500万円の歳出、企業会計では、水道事業で1410万円の支出予算を可決しました。

### 農業施設災害復旧 188億4056万円

農地や農道、用排水路などの復旧工事を行うための予算です。

### 林業施設災害復旧

27億7882万円

林道鷲ノ平線や内山線などの復旧工事を行うための予算です。

### 公共土木施設災害復旧

116億703万円

町道や河川などの復旧工事を行うための予算です。

### 災害廃棄物処理

77億8375万円

災害で大量に発生した廃棄物の処理費用です。被災者の申請により町が行う、被災家屋等の解体費や宅地の土砂払いも含まれます。

### 公立学校施設災害復旧

1億5647万円

金山・筆甫・耕野小学校、給食センターの復旧工事を行うための予算です。

### 強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金

7億2156万円

被害を受けた農産物の生産に必要なビニールハウスやトラクターなどの購入を支援するための予算です。



補助で導入したコンバイン

## 令和2年度台風第19号関連予算（2年度・元年度繰越予算）

### 一般会計

予算項目名称	令和2年度予算	元年度繰越予算	合計額
復興推進費	3億971万円		3億971万円
災害救助費	1,567万円	1億1,262万円	1億2,829万円
清掃総務費		82億1,446万円	82億1,446万円
農業振興費		7億2,156万円	7億2,156万円
農業施設災害復旧費	94億2,002万円	94億2,054万円	188億4,056万円
林業施設災害復旧費	12億6,258万円	15億1,624万円	27億7,882万円
公共土木施設災害復旧費	52億6,803万円	63億3,900万円	116億703万円
公立学校施設災害復旧費		1億5,647万円	1億5,647万円
計	162億7,601万円	264億8,089万円	427億5,690万円

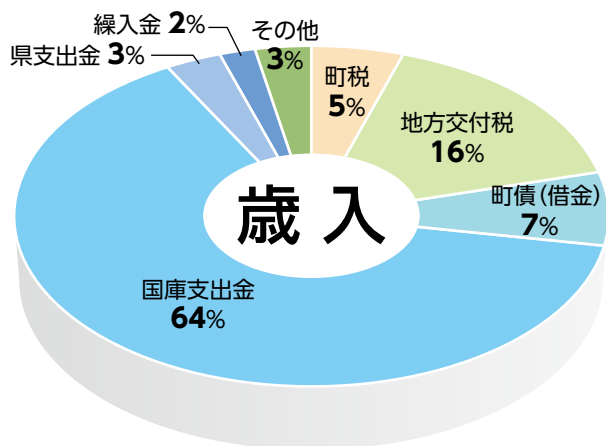
### 特別会計

公共下水道事業		4億6,526万円	4億6,526万円
農業集落排水事業		8,500万円	8,500万円
計		5億5,026万円	5億5,026万円

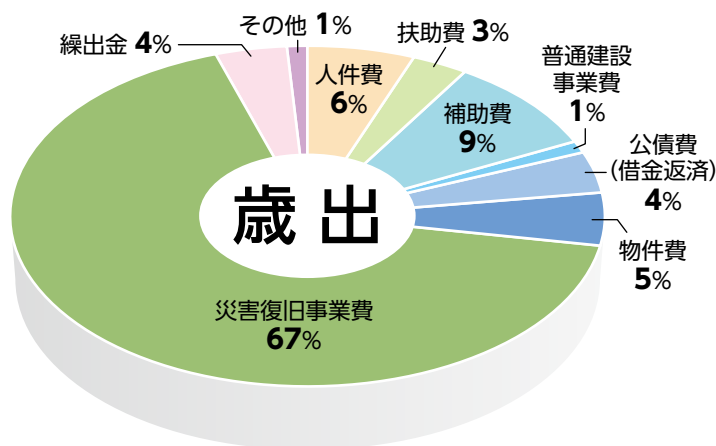
合計	162億7,601万円	270億3,115万円	433億716万円
----	-------------	-------------	-----------

# 令和2年度

# 一般会計予算はこうなりました



町 税	12億2,061万円
地方交付税	37億6,000万円
町債(借金)	15億8,340万円
国庫支出金	153億1,119万円
県支出金	6億9,197万円
繰入金	5億6,520万円
そ の 他	8億1,063万円
<b>計</b>	<b>239億4,300万円</b>



人 件 費	13億7,056万円
扶 助 費	6億7,377万円
補 助 費	21億5,333万円
普通建設事業費	2億8,885万円
公債費(借金返済)	8億8,220万円
物 件 費	12億5,964万円
災害復旧事業費	161億 185万円
繰 出 金	9億5,873万円
そ の 他	2億5,407万円
<b>計</b>	<b>239億4,300万円</b>

会 計 名	令和2年度	令和元年度	伸び率	
一 般 会 計	239億4,300万円	89億9,400万円	166.2%	
特 別 会 計	国民健康保険	16億 720万円	16億2,930万円	▲1.4%
	後期高齢者医療	1億7,240万円	1億7,210万円	0.2%
	介護保険	19億9,720万円	19億7,280万円	1.2%
	宅地造成事業	1,920万円	2,370万円	▲19.0%
	公共下水道事業	2億7,980万円	4億6,310万円	▲39.6%
	工場団地造成事業	30万円	30万円	0.0%
	農業集落排水事業	8,890万円	1億 200万円	▲12.8%
	小 計	41億6,500万円	43億6,330万円	▲4.5%
計	281億 800万円	133億5,730万円	110.4%	
病院事業会計				
収益的支出	12億7,841万円	13億3,277万円	▲4.1%	
資本的支出	2億2,363万円	5億9,999万円	▲62.7%	
水道事業会計				
収益的支出	3億6,201万円	3億5,911万円	0.8%	
資本的支出	3億3,371万円	4億4,927万円	▲25.7%	

## 各種会計

## 当初予算額の比較(支出)

※収益的支出とは、人件費や材料費など業務運営に係る支出。

※資本的支出とは、工事費や過去の建設工事のために借り入れたお金の返済など財産に係る支出。

# 証 検

# 新年度予算

## 予算審査特別委員会

会期中4日間にわたり、町長、副町長及び担当課長等の出席を求め、令和2年度の予算審査を行いました。質疑の一部を要約してお知らせします。

### 予算審査日程

3月10日

一般会計・歳入、商工観光課、町民税務課、総務課・選挙管理委員会、議事事務局

3月11日

企画財政課、子育て定住推進課、保健福祉課、復興推進室

3月12日

建設課、災害復旧対策室、災害廃棄物対策室

3月13日

農林課、農業委員会、学校教育課、生涯学習課、丸森病院



できます、コンビニ収納

### 大型予算どうこなす

問 令和元年度からの繰越事業と、2年度予算で433億円を越す事業だ。職員不足対応はどうする。

答 他自治体職員の派遣要請と、1年任期職員の採用などで職員を増員する予定である。外注できるものは委託で進める考えだ。

### 企業版ふるさと納税は

問 企業版ふるさと納税の推進に向けた体制づくりは。

答 企業から多くの寄附を募るため、町長がトップセールスを行うほか、職員によるプロジェクトチームを設置し、全員が宣伝マンとなりPRを進めていく。

### 収納率向上の取組みは

問 納税貯蓄組合の組織率が低下傾向にある中、町税等の収納率を高めるための対策は。

答 今後は、便利な口座振替やコンビニでの納付を積極的に推進し、収納率の向上に努めていく。

### 地域防災力の充実は

問 自主防災組織の高齢化が進む中、地域防災力の充実・強化につながる若年層の参加に向けた取り組みは。

答 全町民の防災意識の向上を図るとともに、若い世代が組織に参加するよう、さらに声掛けを進めていく。



### 重点作物の取組みは

問 園芸重点作物の、ブルッコリー、小菊、苺の生産拡大にどう取り組むか。

答 JAとの協力体制に加え、農業創造センターに専属職員1名を配置し園芸技術指導に更に力を入れ、新規作付者の開拓も行う。

町の顔となる作物として、苺の「にっここベリー」を推進し生産拡大に取り組む。

### 災害ごみの早期処理を

問 今後災害家屋の解体で、更に大量のごみが発生する。安全に早期に処理すべきだ。

答 今後400棟の建物解体があるのを見ている。業者委託するが、分別の徹底などを念頭に、安全に早く処理するよう努めていく。



公費解体が始まった被災家屋

### 稲作減収対策は

問 令和2年は、作付けできない水田が多く出ると思うが、農家の収入確保策をどう進める考えか。

答 どうしても作付けできない水田が出ると見る。収入減を少しでもカバーするため、景観作物などを転作助成対象とするよう調整している。

### ウォークラリー大会は

問 昨年は台風で中止になったが、今年はどうするのか。

答 災害からの復旧の姿を見てもらえるものにした。不動尊公園周辺は被害が大きいので町中心部で開催する。



甘みと酸味のバランスが良く美味しい「にっここベリー」

# まちづくりを

総括質疑の中から取り上げました



こども園の給食時間：ちょっと離れてコロナ対策

## コロナウイルス対策は

**問** こども園、放課後児童クラブ、保育所等では、**新型コロナウイルスの感染防止対策は大丈夫か。**

**答** 子どもは、マスクをほぼ全員が着用している。保育室の換気、長机・椅子等の消毒については徹底して行い、感染予防対策を実施している。

## あぶ急開通見通しは

**問** 阿武隈急行線の**一部が不通となっていて、一日の運行も限定的で不便である。今後の見通しは。**

**答** 丸森―槻木間をこれまでのダイヤに戻し、丸森―富野間については、線路や治山の工事を2年度中に完了するよう努めた。

## 再編統合1年で出来るか

**問** 令和3年4月から新小**学校がスタートできるよ**うに再編統合作業を進めるとしているが、**1年の短い期間で出来るのか。**

**答** 保護者・中学生のアンケート、住民からの様々な意見と審議を行い、足掛け4年が経過した。丸森と館矢間2校として再編統合を進める。

## 町営住宅再建を早急に

**問** 町営住宅、災害公営住宅の整備は、**いつの完成を目指して取り組むのか。**

**答** 令和元年12月末から仮設住宅への入居を始めた。確実な財源確保と建設場所を検討しながら、令和3年12月末を目標に、現在進めている。



復旧工事が進む、あぶくま駅周辺

# 明日につながる

## 防災代替庁舎の検討は

**問** 町政懇談会で町民から、防災代替庁舎や防災センター設置の質問があったが、検討すべきではないか。

**答** 現在、台風第19号並みの雨でも町中心部が浸水しない対策を検討している。役場庁舎の移転はないが、代替機能場所は必要なので防災計画の見直しの中で検討する。

## 誰一人取り残さない復興

**問** 在宅被災者を含めて、被災者の心のケアをどう進めるのか。

**答** 地域支え合いセンターの職員を5名配置するとともに、応援の保健師や支援員の訪問活動で心身の健康維持を図っていく。



豪雨で浸水した役場周辺

## 道路の復旧・復興は

**問** 丸森霊山線の復旧工事の現状と開通の見通しについて。

**答** 仮復旧工事で通れるようにはなっているが、沢の崩落箇所が多く、落石の危険があり、通行止めとなっている。開通の見通しは未だない。



仮復旧が終了した丸森霊山線

## 復興支援型協力隊とは

**問** 台風被害からの早期復旧に向けて、新年度から導入する復興支援型地域おこし協力隊とはなにか。

**答** 台風後は、多数の人達の協力を得て復旧をすすめてきた。今後もマンパワーが必要のため、復興に役立ちたいと思う町外の方を、復興支援型隊員として7名募集する。

# まちづくりへの要望

## 令和2年度各種会計予算に関する要望



復旧作業を行うボランティアの皆さん（不動尊公園キャンプ場）

### ふるさととの再生を 進めよう

所管事務調査、予算審査で出た議員の意見をまとめ、9項目を町長に要望しました。

- ① 誰一人取り残さない復旧復興を成し遂げるため、安定財源確保と企業版ふるさと納税の推進を積極的に進めること。
- ② 人命と財産を守るための防災計画とハザードマップの改訂を行い、確実な町民への浸透で非常時の素早い行動につながるよう努めること。
- ③ 阿武隈急行が公共交通機関として果たす役割は将来においても重要である。復旧に時間を要しても全線開通に努めること。
- ④ 丸森病院の一般・地域包括ケア・療養病床の役割を最大に活かして、町民の健康増進と経営の安定につなげること。
- ⑤ 復旧復興は生活再建を急ぎ、人口が減少しないよう最善を尽くすこと。
- ⑥ 被災農業者が早期に営農再開できるよう、農地の再生や各種支援策を速やかに実施すること。
- ⑦ 商工業や観光施設の早期復旧復興を図り、活力の再生と雇用維持に努めること。
- ⑧ 内水対策の強化を図り、安全安心な住まいの確保に早期に取り組むこと。
- ⑨ 小学校の再編統合に向けては、保護者や地域住民の理解を得て進めること。

# 役場の仕事を チェック

3月定例会前に、常任委員会で各課の所管事務調査を行いました。

## 総務民生常任委員会

### 丸森病院

- ・病院施設・機器の復旧計画

### 総務課

- ・災害に強い町づくりの推進

### 保健福祉課

- ・応急仮設入居者の心身のケア

### 企画財政課

- ・災害復旧財源の見直し
- ・災害廃棄物対策室、町民税務課

- ・災害廃棄物処理の推進

## 産建教育常任委員会

### 商工観光課

- ・観光施設の復旧状況
- ・現地調査（不動尊公園キャンプ場）

### 教育委員会学校教育課

- ・台風第19号による被災後の商工業の現状と課題
- ・復旧・復興計画策定まで、被災した児童生徒の心のケア策及び町外へ避難し通学している学年別状況
- ・新学習指導要領実施に向けた今後の取り組み

### 建設課

- ・台風第19号による災害復旧状況と課題
- ・丸森雨水ポンプ場の機能回復状況と内水対策
- ・被災住宅応急修理の取り組み

### 農林課

- ・被災農家等営農再開対策
- ・有害鳥獣解体処理施設整備の今後の進め方
- ・契約期間経過の分収造林の処理状況

## 令和元年台風第19号

### 災害対策調査特別委員会の活動報告

昨年12月から今年3月末までに8回特別委員会を開催し、積極的な活動を行ってきました。

12月20日委員会設置後の23日には被災箇所現地調査を行い、年明けの1月10日には国会議員や国土交通省等に、1月24日には宮城県議会議長及び県知事に対して復旧・復興に関する要望活動を行いました。

西村明宏衆議院議員や秋葉賢也衆議院議員等からは、早期の復旧・復興に向けて全力を尽くすとの言葉をいただきました。

佐野県副知事からは、県としても一日も早い復旧に向けて鋭意取り組み、必要な財源措置を国に要望していくとの回答を得ました。

また、町の復旧・復興の見通しの調査など、昨年12月に「丸森町復旧・復興基本方針」を策定し、2月には「(仮称)丸森町復旧・復興計画(素案)」により基本施策が示され、3月末には「(仮称)丸森町復旧・復興計画(中間案)」によ

り具体的な事業が示され、委員会の中で活発な議論を交わしました。今後は6月までに復旧・復興計画の最終版が策定される予定ですので、委員会としても引き続き調査を行ってまいります。



復旧・復興に関する要望活動を行いました

# 令和2年 第2回議会定例会

## 議案一覽

**3月議会では、すべての議案を全員賛成により可決しました。**

諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第7号	丸森町行政運営推進委員会の設置に関する条例制定について
議案第8号	丸森町ふるさと応援基金条例制定について
議案第9号	丸森町環境と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例制定について
議案第10号	丸森町職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部を改正する条例制定について
議案第11号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第12号	令和元年台風第19号により被災した被保険者に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第13号	令和元年台風第19号により被災した被保険者に係る介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第14号	丸森町敬老祝金条例の一部を改正する条例制定について
議案第15号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第16号	丸森町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第17号	丸森町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
議案第18号	丸森町監査委員条例等の一部を改正する条例制定について
議案第19号	丸森町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第20号	岩沼市外一市三町水道水質検査協議会を組織する地方公共団体の数の増加及び岩沼市外一市三町水道水質検査協議会規約の変更について
議案第21号	丸森町児童館の指定管理者の指定について
議案第22号	黒佐野堆肥センターの指定管理者の指定について
議案第23号	不動尊クラインガルテンの指定管理者の指定について
議案第24号	筆甫クラインガルテンの指定管理者の指定について
議案第25号	丸森町筆甫そば打ち体験館の指定管理者の指定について
議案第26号	令和2年度丸森町一般会計予算
議案第27号	令和2年度丸森町国民健康保険特別会計予算
議案第28号	令和2年度丸森町後期高齢者医療特別会計予算
議案第29号	令和2年度丸森町介護保険特別会計予算
議案第30号	令和2年度丸森町宅地造成事業特別会計予算
議案第31号	令和2年度丸森町公共下水道事業特別会計予算
議案第32号	令和2年度丸森町工場団地造成事業特別会計予算
議案第33号	令和2年度丸森町農業集落排水事業特別会計予算
議案第34号	令和2年度丸森町病院事業会計予算
議案第35号	令和2年度丸森町水道事業会計予算
発議第1号	令和2年度丸森町各種会計予算に関する要望決議
議案第36号	工事請負契約の締結について
議案第37号	工事請負契約の締結について
議案第38号	令和元年度丸森町一般会計補正予算（第10号）
議案第39号	令和元年度丸森町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第40号	令和元年度丸森町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第41号	令和元年度丸森町介護保険特別会計補正予算（第4号）
議案第42号	令和元年度丸森町宅地造成事業特別会計補正予算（第2号）
議案第43号	令和元年度丸森町公共下水道事業特別会計補正予算（第6号）
議案第44号	令和元年度丸森町農業集落排水事業特別会計補正予算（第6号）
議案第45号	令和元年度丸森町病院事業会計補正予算（第3号）

# 一般質問 町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずぬるものです。  
今回は8人の議員が質問しました。

頁	議 員	質 問 事 項
16	一 條 己 議員	●三世代のチャレンジ
17	山 本 明 徳 議員	●働き方改革と再編統合は
18	鈴 木 美智子 議員	●福祉避難所の取り組みは
19	一 條 功 議員	●被害者を出さない町に
20	宮 本 昭 雄 議員	●災害に強い町づくりを
21	船 山 俊 一 議員	●被災者支援の取り組みは
22	金 森 裕 之 議員	●災害復旧の見通しは
23	板 橋 勇 議員	●丸森病院の今後は



# 三世代のチャレンジ

## 町長 多様な世代の将来像を



いちじょう 一 條 議員

**問①** 5年、10年後までの復旧・復興計画を進め、検証見直しを毎年繰り返すのは、次世代の仕事になる。将来、町のリーダーになるだろう若者の意見はどのように盛り込むのか。

**答①** 計画の策定に若者を中心とした職員の想いを寄せてもらった。中間案の策定後にはパブリックコメントの実施や、JA、商工会青年部等の意見を聞く機会を設けて反映させる。

**問②** 小学生以下の小さな子どもたちの遊び場が必要である。どう取り組むのか。

**答②** 2つのこども園の開放、

子育て支援センター、公園等の活用を進める。

**問③** 台風第19号による被災は子どもたちにどのような影響を与えたか。

**答③** 教育長これから、全国各地で様々な災害が発生し

た時、自分たちで何ができるかと、自ら考え行動を起こす気持ちが芽生えている。

**問④** 外国語の教科化やプログラミング教育の導入は、小規模校の丸森の子どもたちには有利である。子ども

の新しい能力と小さな町の教育の評価を高めるチャンスである。町内には外国語やプログラミングに長けている会社や学校がある。それらの地域資源を生かした教育の取り組みをすべきと思うがどうか。

**答④** 教育長提案のように地域の人材を活用し、児童たちの学習効果を高める方策を検討する。

**問⑤** 本町の教員の仕事量は過剰か。

**答⑤** 教育長 本年4月からの時間外勤務は、1か月あたり45時間、1年間では360時間が上限となる。町では長時間労働対策として、毎月校長から報告を受け面接をして、産業医による指導を実施している。また、外国語・理科への専門教員や複式学級や特別支援教室に教員補助者の配置をし、時間外を解消しつつ、引き続き教育の質の向上を図っていく。



復旧・復興基本方針をテーマにしたまちづくり懇談会（丸森地区）



# 働き方改革と再編統合は

## 教育長 児童生徒の教育を第一に



あきのり 山本 議員

**問①**長時間労働によって教員の精神疾患による休職者数の増大や過労死が増加している。心身ともに健康で子どもたちの前に立つことは、子どもたちの教育にとっても極めて大切な課題である。長時間労働の原因は何か。そして、働き方改革をどのように進めるのか。

**答①**勤務時間が長時間化している。その原因は、総授業時間数の増加と中学校における部活動時間の増加であると認識している。小学校においては、外国語や理科を受け持つ専科教員を配置し、中学校においては、部活指導員の活用を行い、

本来の業務である授業創りにゆとりをもって取り組める環境を作っていく。

**問②**学校を繁忙期と閑散期に分け、教員の勤務時間を年間を通じて調整していくという「変形労働時間制」の導入は、教員の長時間労働を助長する制度であり学校にはなじまないのではないか。

**答②**教員が健康で働き続けられるように、勤務時間の管理に努め、教員一人一人の実情に合わせて適用していくものであり、画一的に導入することはせず、慎重に検討していく。

**問③**小学校の再編統合については、3月2日の総合教育会議で、2校に再編統合する案となった。

過小規模校では、子どもの教育にとってマイナス面が大きいのか。

**答③**考えを深め人間関係を構築していく経験が希薄になっていく可能性が高く、

問題が大きい。

**問④**保護者を含めた地域住民との話し合いを徹底して継続し、納得を得て進めるべきではないか。

**答④**町長これまで検討いただいた各委員会の報告や提言を尊重し、その方針をもって各地区の説明会に臨み再編統合への理解を求めていく。



明日への旅立ち (館矢間小学校)

# 福祉避難所の取り組みは

## 町長 避難所確保に努める



鈴木美智子 議員

様の活動を実施する。

**問②**災害時は地域包括支援センターが窓口となり、施設と介護支援専門員と連携して円滑な緊急受け入れに つなげる役割を担うべきと考えるが、どう取り組み福祉避難所を確保するのか。

**答②**緊急時の対応は迅速かつ適正な対応が求められることから、災害発生直後から実施すべき取り組みについてマニュアル化すべきと考えており、今後、関係機関と連携し体制を整備する。複数の福祉避難所の事前指定や、福祉用品提供の協

定を締結するなど、福祉避難所の確保に努める。

**問③**自閉症などの障害を有し集団生活が困難な方の避難所の確保が難しいと見る。町外の施設や、みずきの里の2階と建設予定の障害者グループホームに避難所整備を図るべきではないか。

**答③**計画されている障害者グループホームは、災害発生時に一時的に避難所として活用するホールを設置する内容となっている。

しかし、障害者グループホームだけでは十分ではないことから、提案内容も参考に避難所の確保策を検討する。

**問①**丸森病院で医療を要する在宅からの避難者の受け入れが出来ない場合は、他院への受け入れや避難所への医師及び看護師の訪問などの体制を構築すべきと思うが、現状と今後の取り組みを問う。

**答①**県及び日赤救護班へ応援を要請し、県の救護班に町の救護班が包含される形で医療救護活動を行うこととしている。

避難所での医師の活動は災害派遣医療チームと協議しながら判断し、看護師は各避難所を巡回して被災者の様子を確認するなどの活動を行っており、今後も同



障害者グループホーム建設予定地（旧館矢間保育所跡地）

# 被害者を出さない町に

## 町長 予防策を講じる



いちじょう  
一條

いさお  
功 議員

台風第19号豪雨災害により、大きな犠牲を払ったがこれを教訓に復旧・復興を遂げるためには、全町を挙げて、覚悟を持って当たらなければならない。  
又、再び大きな災害が起きないように、ハード・ソフト両面で整備することが重要だ。  
これを踏まえ町長に問う。

**問①**「町民に伝える」手段や方法をどのように改善し、避難情報を認識してもらい、町民を守るのか。  
**答①**安全安心メールやエリアメールで避難情報を送信、県総合防災情報によるテレ

ビのテロップのお知らせや消防団、自主防災組織の呼びかけをしたが、避難率は数%に留まった。  
台風第19号災害検証委員会「避難情報の伝達」や「避難誘導」などを検証する。

**問②**自主防災組織活動を指導強化して共助を進めるべきだが考えはどうか。  
**答②**今回の災害により、役割の重要性が再認識された。有事の際に防災・減災に実効性の高い組織となるよう積極的な支援を図り、地域防災力の向上に努める。

**問③**地域防災計画の風水害に強いまちづくりで、予防対策を示しているが事業評価はどうだったか。  
**答③**今回の経験を踏まえ地域防災計画の見直しを行い国、県と連携して、より効果的な予防対策を講じる。

えに立ち、タイムライン(防災行動計画)を設定し、町民から被害者を出さないよう備えをするべきだがどう考えるか。

**答④**防災上有益な手段であると認識している。今後、その設定と普及推進を図る。

**問④**町民を守る施策として施設だけでは防ぎきれない災害は必ず発生するとの考



届けたい、逃げろの声 (防災スピーカー)

# 災害に強い町づくりを

## 町長 防災減災の復旧を推進



みやもと 昭雄 議員

町民の安心・安全な暮らしの早期実現に向け、確かな復興と災害に強い町づくりへの姿勢を問う。

**問①** 防災力を高める改良復旧を進めるべきだ。

**答①** 今度の災害には、国補助の災害復旧事業で取り組むが、原形復旧が基本である。

特別な対策が必要な個所は、強靱化の考えを取り入れて復旧したい。

**問②** 今度の災害は、大雨による異常な出水と土石流の複合的現象が特徴の災害だ。河川堤防強化と砂防ダ

ム・治山事業も組み合わせる必要がある。  
**答②** 越水した箇所は今回の水位を踏まえた、防災・減災の視点で復旧を進める。砂防事業と丸森地区県管理河川の河床掘削、堤防増強などの工事は国直轄災害復旧として行われる。

更に、治山対策も国と県に強く要望していく。

**問③** 特に圃場整備区域の復旧は、町や土地改良区・地元との役割分担をしっかりと話し合い、進めることが必要と思うがどうか。

**答③** 農地や水路等の復旧には、相当な期間を要すると考えている。高度な技術が必要な復旧は県で進めることとなった。また、今年の作付けを目指し、応急工事もすでに指している。軽微な被害は土地改良区や地元とも連携し、役割を分担して進めたい。



農地復興に向け第一歩

**問④** 雉子尾川・伊手川の洪水による大内・金山・小斎の被害も甚大だ。堤防工事や河川土砂撤去も早期の対応が必要だ。また町が管理する河川も被害が大きい。  
**答④** 同河川の対応も喫緊の課題と捉えている。

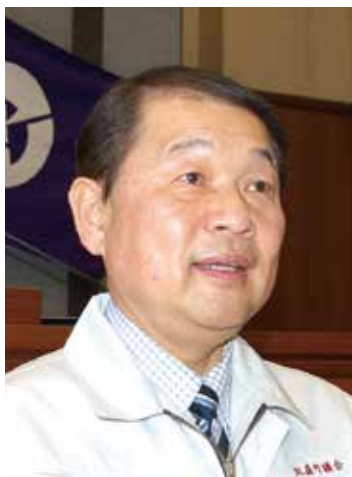
県での災害復旧事業とともに、無堤防箇所の築堤も実施される。

県と協議を重ね、再び災害が起これば早期の整備を強く働きかけていく。

町管理の川も災害復旧と適正な管理に努めていく。

# 被災者支援の取り組みは

## 町長 生活再建に向け支援する



ふなやま しゅんいち  
船山 俊一 議員

被災した町民の方々が生活再建に向けて、安心した日常生活が営めるよう、孤立を防ぐための見守り支援や生活上の相談支援、及び交流機会の提供など、支え合い体制づくりを進めるとともに、被災者一人ひとりに寄り添った支援を行うことは重要である。

この観点から町長に問う。

**問①**生活支援相談員らが、被災者から受けた様々な困りごとや課題に対応するために、民生委員や行政区長、専門機関等との連携は必要ではないか。

**答①**被災者の生活再建を目

指して、地域支え合い業務にも密接な関わりを持つ、民生委員等との情報共有や連携を図り、併せて専門性の高い相談等に対しては、県ケアマネジャー協会なども連携をし、被災者支援にあたっていく。

**問②**復旧・復興基本方針の基本理念に掲げた「誰一人取り残さない持続可能なまちの創造」。その実現を目指すし、被災者の住宅再建への、今後の方向性を問う。

**答②**住宅再建に向けては、復旧・復興計画（素案）の基本施策として、「安心して暮らすことのできる住まいの再建」に取り組むことを盛り込んだところである。今後は、住宅再建の意向や各種要望など、被災した町民の声にしっかり耳を傾け、適切に対応していく。

**問③**自宅以外の店舗や事務所が、被害を受けた事業者に対しても、町独自の財政支援を検討すべきではないか。

**答③**庁舎内でしっかりと検討しながら、対応を考えていきたい。

**問④**災害公営住宅の整備、並びに町営住宅の再建に関

して、早急な整備に向けた町の取り組みを問う。  
**答④**住宅の整備については、早急な対応が必要である。県と協議を進めながら、3月中には基本的な方針を決めていきたい。



被災者の見守り活動を行う生活支援相談員（花田仮設団地）

# 災害復旧の見通しは

## 町長 復興に全力で取り組む



かなもり ひろゆき  
金森 裕之 議員

昨年10月の台風第19号の記録的な大雨により、町内のライフラインを始め、国道349号、県道丸森・霊山線、町林道そして農地など、私達の生活に甚大な被害を受けた。今もなおその爪痕が残っている。そこで今後の復旧の見通しを問う。

**問①** 国道349号については、国土交通省の丸森地区防災対策技術検討会において、山側へのルート変更案が示された。

今後工事に伴う住民の交通への影響などが心配される。また、町として住民説明をどのように進めるか。



仮復旧が完了した石羽浄水場の取水口（筆甫鷲ノ平地区）

**答①** 住民説明会や意見交換会を実施し、改良計画に地権者等の要望を反映させるよう国や県などに働きかけていく。

**問②** 大雨の影響により破損した町内の水道設備、給水施設だが、安定的に町内に供給がなされているのか。また、今後台風などの大雨によって破損、供給停止が想定されているが、対策検討がなされているのか。

**答②** 本町には3カ所の浄水場があり、9821人に水道水を供給している。いずれの浄水場取水口も、各所の送配水管も被災し、断水となった。現在、取水口については仮復旧が完了し、送配水管の本復旧は令和2年度内に工事完了の予定である。また、角田と相互応援給水体制の構築を検討する。

**問③** 被災した農地、農業用水路の復旧が急務となっているが、いまだに多くのがれき等が残されたままである。営農再開が待ち遠しい中、農地、水路の復旧の見通しはいつになるのか。

**答③** 現時点で復旧の見通しがたっていない。一日でも早く作付けができるよう、国、県に強く要望し、全力で取り組んでいく。

# 丸森病院の今後は

## 町長 包括ケア病床を導入



いたばし  
板橋

いさむ  
勇 議員

台風第19号の被害により丸森病院の経営が非常に厳しい状況にある。経営支援が必要と考えるので問う。

**問①**丸森病院があることにより町の基準財政需要額として地方交付税にいくら算入されているか。1億とも1億8000万円とも言われているが、町財政当局が捉えている金額を問う。

**答①**病院に関する地方交付税は、主に病床数や起債の元利償還金などにより、基準財政需要額に積算される。令和元年度は2億1000万円が見込まれている。

**問②**今年度の特別地方交付税は10億円以上多い。病院は台風被害により純損失3億円が予想される。億単位の経営支援をすべきだ。

**答②**休診や医療機器被害での収支の悪化により、令和2年度の予算に繰出金4億2000万円を計上している。

**問③**昨年9月26日、厚生労働省は診療実績が低い公的病院の再編が必要な病院を公表したが、丸森病院も対象となった。丸森病院は必要であり、現状維持の診療体制を多くの町民が望んでいる。

公表基準の中に「救急医療等の9項目の診療実績が乏しい」「近くに類似の医療機関がある」とある。丸森病院が該当した基準と今後の対応を問う。

**答③**「医療実績が特に少ない」診療項目はがん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修・派遣機能の9項目全て

に該当。「類似かつ近接する医療機関あり」はがんから周産期までの6項目。今後は一般病床55床のうち

38床に、リハビリを行う回復期病床である「地域包括ケア病床」を導入し収益の向上を図っていく。



床上浸水で壊れ、新しく購入した血液検査装置



## 道路整備で

## 筆甫は更に良くなる

筆甫地区

目黒

たけし  
壮さん

このコーナーは、議員が住民宅を訪ねて直接インタビューを行い、ご意見をうかがう企画シリーズです。

Q 筆甫に帰郷した理由は。

A 酪農を営む両親が、平成26年2月の大雪で牛舎が全壊してしまい廃業を考えていました。

長年積み重ねて来たものが無くなるのは忍びなく、酪農を継ぐことを決意したからです。

Q 帰郷してどうでしたか。

A 住民が少なくなり保育所と中学校も無くなり淋しさはありますが、顔見知りが多く情が厚くて付き合いが深く、故郷に帰ってきたことを実感しています。

Q 目指す暮らしと酪農は。

A 酪農は自分の頑張りが入り収入になり面白く、やりがいがあり、子どもと過ごす時間が多く満足しています。

子どもが健やかに育つ事を第一に、子どもと過ごす時間が増えるよう酪農の労力を削減する工夫をしたい。

Q 議会と町への要望は。

A 筆甫はマスコミで取り上げられて来る人が多くなる期待があり、町へのアクセスが良くなれば生活が更に良くなると思います。

それは道路でつながって行くと思いますので早く整備して欲しいです。

御協力有難うございました。

(鈴木美智子 副委員長)

## 令和2年度 第1回 議会懇談会のお知らせ

議会懇談会は、例年5月に開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により開催時期を検討中ですので、開催時期が決まり次第お知らせします。

## 表紙のひとば

4月6日、小斎地区で50haの稲作経営を行う、大内喜一郎さん喜博さん親子の種まき作業の様子を撮影しました。

大内さんは、昨年10月の台風第19号で、農業機械・精米施設・出荷直前の米と自宅・販路まで、壊滅的な被害を受けましたが、多くのボランティアの皆さん、国県や町の支援もあり、稲作の再開にこぎ着けました。今年も数回に分けて、昨年とほぼ同じ6500枚の種まきをするとのこと。順調な稔りの秋と、本町の水田農業の復活を切望するばかりです。

(大槻正儀 委員長)

## 次の議会は、6月9日(火)午前10時より開会予定です

- ※日程は変更になる場合があります。
- ※本会議の日程は、後日、町ホームページでお知らせいたします。
- ※新型コロナウイルス感染の状況により、傍聴を制限する場合があります。

お問い合わせ先 議会事務局まで ☎72-3038【直通】

## 議会広報常任委員会

委員長	大槻 正儀
副委員長	鈴木美智子
委員	金森 裕之
	山本 明徳
	船山 俊一
	宮本 昭雄